



Point of Study

経済活動の大きさをはかる指標には何があるのか。また、それぞれの指標は、どう関係しているのだろうか。

Quiz

次のうち、日本のGDPに計上されるものは？

- ①東京ではたらく米国人Aさんの所得
- ②ニューヨークではたらく日本人Bさんの所得
- ③北京ではたらく米国人Cさんの所得

*1 GNI

2000年に、それまで利用されていたGNP(国民総生産)にかわって導入された指標。GNPが生産物の付加価値合計をそのままあらわすのに対して、GNIはこれを所得の側からとらえたもので、これらは等価である。

①国民所得の計算では固定資本減耗といい、企業会計上の費用ととらえたものを減価償却費という(→NAVI p.83)。

*2 国民所得の三面等価

国民所得は、生産された価値の合計であると同時に、生産物に支払われた金額の合計でもある。また、生産価値は、最後はだれかの所得になるから、分配された所得の合計にも等しくなる。このように生産国民所得、支出国民所得、分配国民所得が必ず等しくなる関係を、三面等価の原則という。

4 国民所得

GDP・GNI

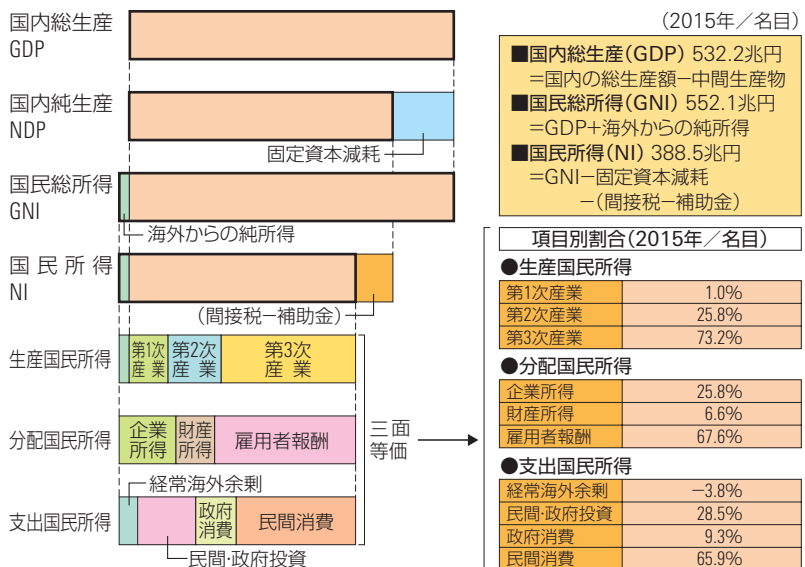
経済関係のニュースでは、景気という言葉がひんぱんに使われる。一般に、経済全体の活動水準が高いときを「景気がいい」、低いときを「景気が悪い」という。

では、経済全体の活動水準は、どのようにしてはかれるのか。

最も代表的な指標がGDP(国内総生産)である。これは1年間に、国内で生産された生産物の価格から、原材料費などの中間生産物の価格をさしひいた付加価値(新たにうみだされた価値)の合計である。GDPが高いときは、それだけ生産活動が活発だと考えられるので、一般に、GDPが経済活動の指標とされている。

GDPは、日本国内でうみだされた付加価値を合計したものであるのに対し、日本の国民や企業が、国内および国外でうみだした付加価値を合計したものをGNI(国民総所得)という。

GDPやGNIには、製品の製造過程で機械などが消耗し、その価値の一部を失った分(固定資本減耗)が含まれている。さらに、財・サービスの価格には、消費税などの間接税が含まれ、その分、商品の価格が高くなっている。逆に、補助金などが出ている場合は、その分、安くなっている。GNIから固定資本減耗をさしひき、間接税と補助金を調整した指標がNI(国民所得)であり、これが賃金・給与、利潤、地代・利子、税金などに分配される。



①国民所得の相互関連 『日本国勢図会』2017/18年版などによる。

GDPって何？

経済活動をはかる「ものさし」であるGDP。
その計算に用いる付加価値とは何だろうか。



サキ ○ GDPの意味が、いまいわかりません。

先生 ○ GDPは「国内総生産」といって、1年間に、日本の国内で、新しくつくりだされた財・サービスの価値の合計と定義されます。GDPは、日本経済の活動水準をあらわす最も一般的な数値なのよ。

「新しくつくりだされた価値の合計」というのが、よくわからないのです。



先生 ○ では、パンの生産で考えてみましょう。パンをつくって販売するには、何段階かの製造工程が必要ですね。たとえば農家が、小麦を10億円分生産したとしましょう。これを製粉会社が原料として買い入れて、全部で25億円分の小麦粉を生産したとする。さて、この段階で、新しい価値はいくらうまれたのでしょうか？

サキ ○ 小麦10億円と小麦粉25億円をあわせて35億円です。

先生 ○ と言いたいでしょうけど、ちがいます。小麦粉25億円のうち、10億円は小麦代。だからこれを単純にたし算すると、同じ小麦を2回勘定することになってしまう。

サキ ○ では、どうしたらいいでしょう？

先生 ○ 小麦粉の価値25億円から、小麦の価値10

億円をさしひいて、15億円だけをカウントするようにする。そうすれば、小麦の二重計算をさけることができるからね。そして、小麦粉の15億円という部分は、まさしく小麦粉段階ではじめてうまれた「新しい価値」ですね。

各製造工程で「新しくつくりだされた価値」だけを合計するのよ。

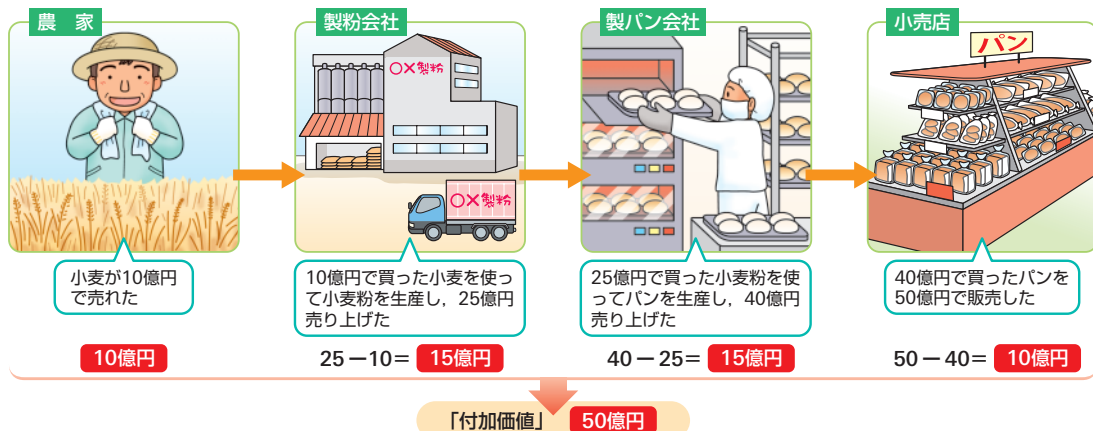


サキ ○ そうすれば、現実の経済活動の大きさに近い数値を得ることができるわけですね。

先生 ○ そのとおり。では、パンの話にもどりましょう。25億円の小麦粉を、今度は製パン会社が仕入れて、40億円分のパンを生産し、これを小売店が仕入れ、50億円にして販売したとしましょう。GDPに含められるのはいくらでしょう？

サキ ○ 40億円のうち25億円は小麦粉代だから、これをひいて15億円。小売店の50億円のうち40億円はパンの仕入れ代だから、これをひいて10億円。つまり、 $10 + 15 + 15 + 10 = 50$ 億円。これが、各製造段階で新しくうみだされた価値の合計です。つまりGDPに計算されるのは50億円ですね。

先生 ○ 正解。



POINT

- ▶ GDPとは付加価値の総計である。
- ▶ 付加価値とは、それぞれの生産段階で新たにうまれた価値という意味。